



RHEOS CAPITAL WORKS

2023年11月8日

2023/4-2023/9

# 第2四半期決算説明資料

---

レオス・キャピタルワークス株式会社（証券コード：7330）

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会/一般社団法人 日本投資顧問業協会



RHEOS CAPITAL WORKS

# 2024年3月期第2四半期 決算概要

## 運用資産残高 (AUM)

11,963 億円

前期末比 **+4.5%**

2023年9月にひふみワールド等の基準価額が下落したことで、運用資産残高はわずかな増加となった

## 営業収益

5,139 百万円

前年同期比 **+6.4%**

2023年4月以降投資信託の基準価額は堅調だったため営業収益は増加

## 営業利益

998 百万円

前年同期比 **+22.3%**

支払手数料を除いた販管費の伸びが抑えられ、営業利益も増加

# 業績（前年同期比）

（百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	2Q	通期	2Q	前年同期比
委託者報酬	4,719	9,477	5,036	+6.7%
投資顧問報酬	108	182	132	+21.8%
営業投資有価証券関連損益 <sup>1</sup>	-	-	△29	-
営業収益	4,828	9,660	5,139	+6.4%
営業収益（ネット） <sup>2</sup>	2,919	5,815	3,096	+6.0%
販管費（除く支払い手数料）	2,103	4,204	2,097	△0.3%
営業利益	816	1,610	998	+22.3%
経常利益	831	1,625	1,003	+20.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	539	1,087	709	+31.6%
EPS	44.88円	90.50円	57.27円	+27.6%
潜在株式調整後EPS <sup>3</sup>	-	-	57.13円	-

当社は、2023年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、参考値を記載しております。当該数値は東陽監査法人による四半期レビューを受けておりません。

1 レオス・キャピタルパートナーズが運営するVCファンドの出資先について減損処理を実施したために計上された金額であり、当社グループに帰属する損益は△4百万円程度となります。

2 営業収益から支払手数料（間接販売における販売パートナーに支払う代行手数料）を控除したもの

3 2023年3月期の潜在株式調整後EPSについては、潜在株式は存在するものの、当社株式は2023年3月期においては非上場であるため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

# 配当金

2024年3月期  
中間配当金

14円  
(予定額)  18円

## 配当金の履歴 (1株あたり)

(円)

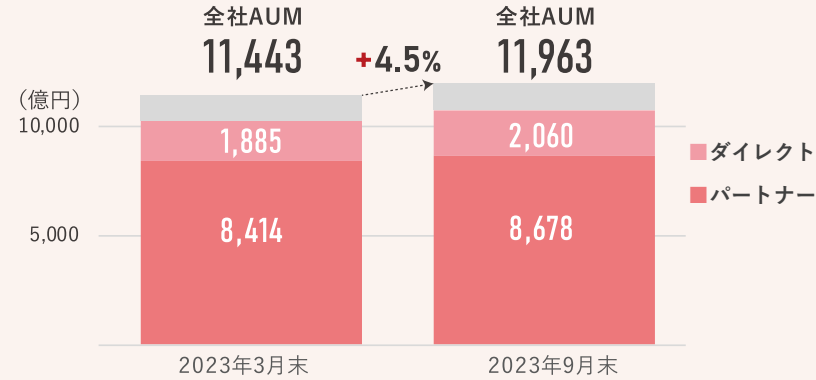
	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
中間配当	-	0.00	18.00
期末配当	33.00	27.50	-
合計	33.00	27.50	-
年間配当 (調整後)	33.00	27.50	-

なお、当期の期末配当につきましては業績予想を開示していないため、配当予定額は未定であります。親会社株主に帰属する当期純利益に対する連結年間配当性向 30%を目標に剰余金の配当を実施する予定です。

# 全社AUMの状況

全社AUM  
**11,963** 億円  
 前期末比 **+4.5%**

2023年9月にひふみワールド等の基準価額が下落したことで、運用資産残高はわずかな増加となった。



設定額 **+881** 億円  
 解約額 **▲1,671** 億円  
 基準価額変動による増減額 **+1,311** 億円

(億円)

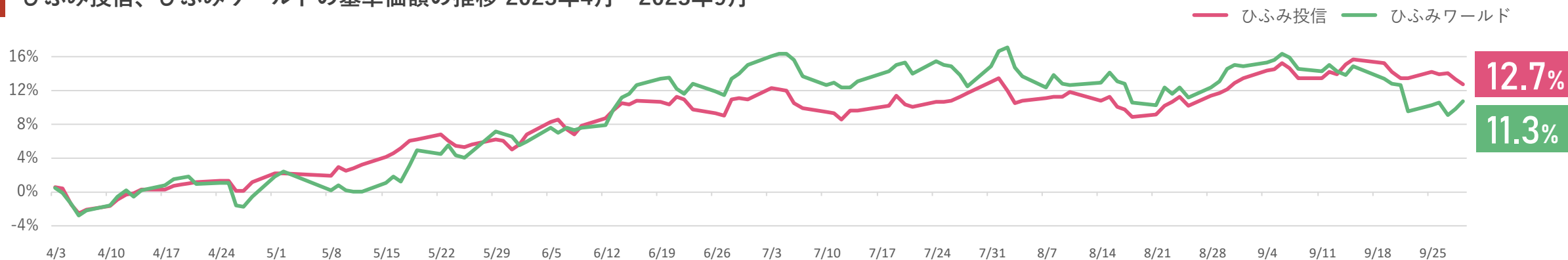
	2023年3月末	2023年9月末				
	AUM	AUM	AUM 前期末比	設定額	解約額	基準価額変動 <sup>3</sup>
投資信託	10,315	10,756	+4.3%	+881	△1,656	+1,216
ダイレクト <sup>1</sup>	1,885	2,060	+9.3%	+139	△191	+226
パートナー <sup>2</sup>	8,414	8,678	+3.1%	+741	△1,464	+988
私募投信	15	16	+5.4%	0	0	0
投資顧問	1,127	1,207	+7.1%	0	△15	+94
全社合計	11,443	11,963	+4.5%	+881	△1,671	+1,311

1 当社で口座を開設した顧客へ直接販売する公募投信    2 提携先の銀行・証券会社などを通じて間接販売する公募投信    3 基準価額の変動によるAUMの増減

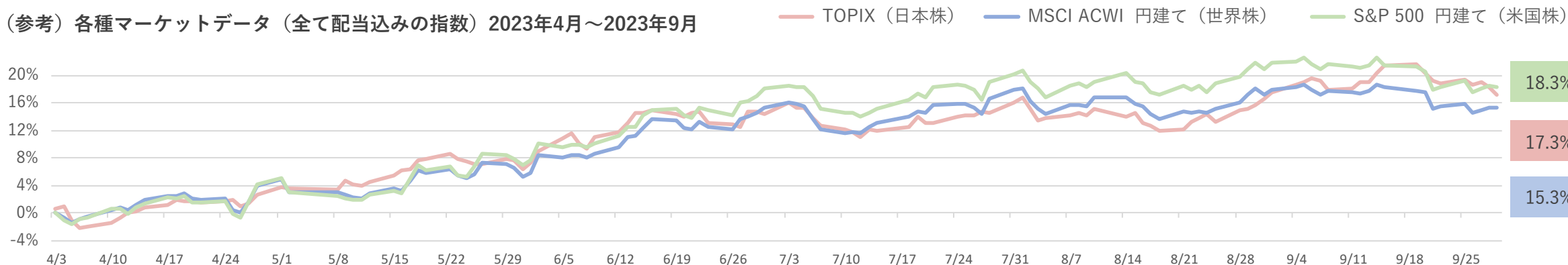
# 基準価額の推移

インフレ指標の落ち着きから海外市場が強い動きとなるとともに、日本市場は東証による低PBR銘柄へのテコ入れ期待、長らく続いたデフレからの脱却期待などから海外勢による見直し買いが進んだが、9月には米国のインフレ懸念の再燃により世界的に株売りが進んだことで、前期末比の基準価額はひふみ投信+12.7%、ひふみワールド+11.3%となった。

ひふみ投信、ひふみワールドの基準価額の推移 2023年4月～2023年9月



(参考) 各種マーケットデータ (全て配当込みの指数) 2023年4月～2023年9月



※各種マーケットデータの説明については、後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご参照ください。

# ダイレクトの状況

ダイレクトAUM

2,060 億円

前期末比 +9.3%

基準価額の上昇に伴い、戻り売りによる解約が増加したが、つみたて金額が上昇に転じた影響で、ダイレクトAUMは増加

残有口座数

60,859 口座

前期末比 ▲1,543

様々なセミナーを中心に数多くのお客様とのリレーションを深めていったが、投資信託の基準価額上昇により解約率が増加し、残有口座数は前期末から減少したが、減少傾向には底打ちが見られる。

## ダイレクトAUM

(億円)

	2023年3月末	2023年9月末				
	AUM	AUM	AUM 前期末比	つみたて 金額 <sup>1</sup>	スポット 金額 <sup>2</sup>	基準 価額 <sup>3</sup>
ひふみ投信	1,437	1,578	+9.8%	54	△95	181
ひふみワールド	419	455	+8.6%	22	△32	46
ひふみらいと	29	27	△5.9%	1	△1	△1
ダイレクト 合計	1,885	2,060	+9.3%	77	△129	226

1 当社が提供する「つみたて購入」を契約いただいたお客様が実際に投資信託を買い付けた金額

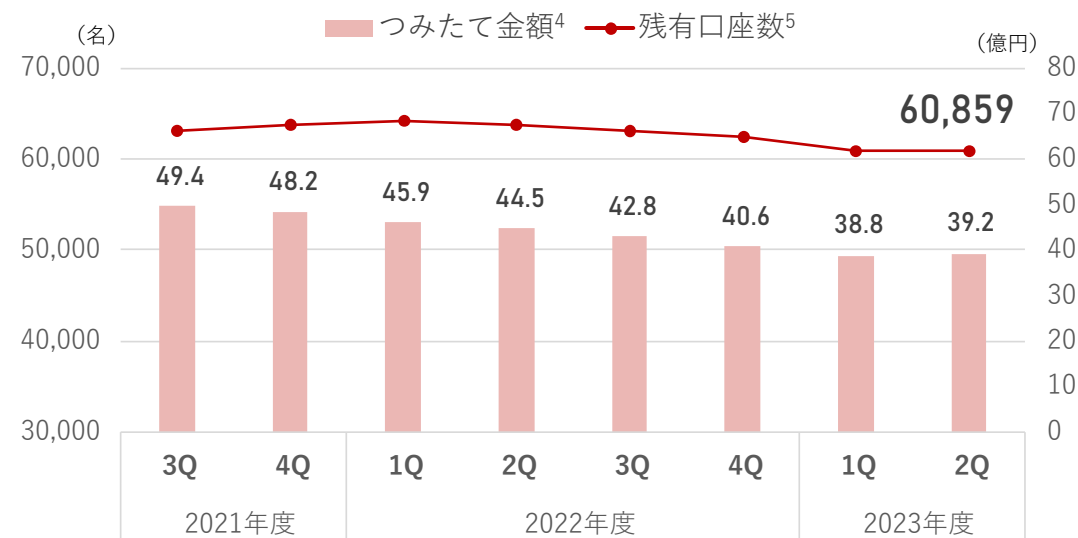
2 設定額から、上記1の金額と解約額を差し引いた金額、つまり、つみたてによる買い付けを除いた純流出入金額

3 基準価額の変動によるAUMの増減

4 各四半期における上記1の合計金額

5 各四半期末において、「ひふみ投信」、「ひふみワールド」および「ひふみらいと」のいずれかを保有する顧客数

## つみたて金額、残有口座数、新規口座数の推移





# パートナーの状況

パートナーAUM

8,678億円

前期末比+3.1%

ダイレクトと同様、投資信託の基準価額上昇に伴い、戻り売りによる解約が増加したが、一定の設定額も確保することができた

販売パートナー数

のべ 264社

前期末比+7社

新NISA制度の導入を見据え、ひふみプラスを新規に取扱う販売パートナーを獲得できた

## パートナーAUM

(億円)

	2023年3月末	2023年9月末				
	AUM	AUM	AUM 前期末比	設定額	解約額	基準価額 変動 <sup>1</sup>
ひふみプラス	4,892	5,263	+7.6%	408	△656	618
ひふみワールド+	2,162	2,048	△5.3%	190	△544	239
ひふみ年金	583	679	+16.4%	68	△48	75
ひふみワールド年金	4	9	+114.4%	5	△1	0
まるごとひふみ15	81	72	△11.5%	31	△38	△1
まるごとひふみ50	290	260	△10.3%	14	△53	9
まるごとひふみ100	399	345	△13.5%	22	△122	46
パートナー合計	8,414	8,678	+3.1%	741	△1,464	988

1 基準価額の変動によるAUMの増減

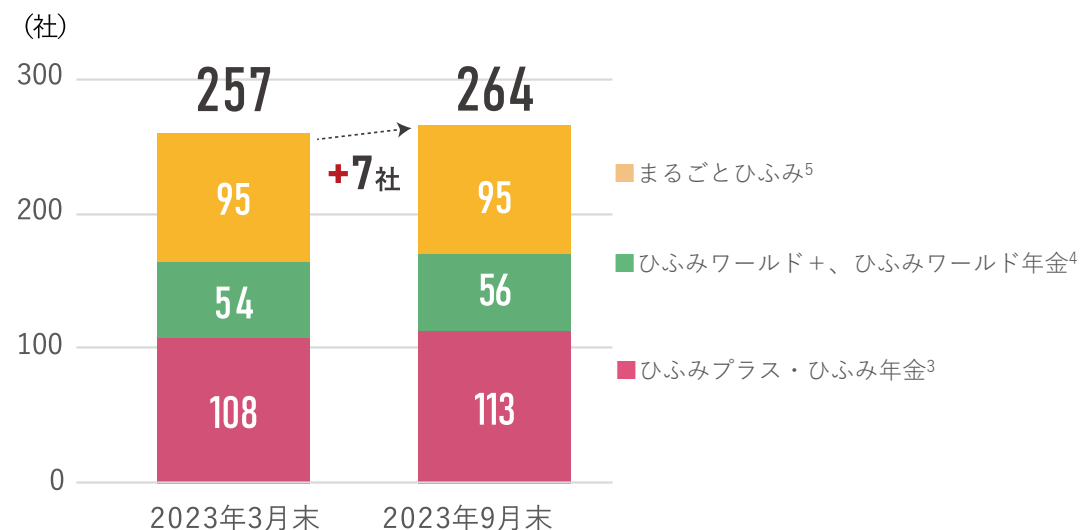
2 投資信託それぞれの取扱社数を合計したもの、例えばA社がひふみプラス、まるごとひふみ50、まるごとひふみ100を取り扱っている場合3社とカウント

3 ひふみプラス、ひふみ年金の取扱社数の合計

4 ひふみワールド+、ひふみワールド年金の取扱社数の合計

5 まるごとひふみ15、まるごとひふみ50、まるごとひふみ100の取扱社数の合計

## 各商品を取り扱う販売パートナー数<sup>2</sup>の推移



# 営業費用及び一般管理費の状況

調査費

367百万円

前期比 +7.9%

業容拡大や円安による  
ドル建て費用の増加等の影響

人件費

797百万円

前期比 +10.6%

前年度の新規採用による  
人員増加の影響

広告宣伝費

107百万円

前期比 ▲53.2%

マーケットの状況を鑑みて一部出稿  
量を増やしたものの、  
効率的な広告活動に注力できた

減価償却費

207百万円

前期比 ▲11.1%

YouTube動画の制作を  
前年同期比で抑えることができた

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期		概要
	2022/4-2022/9	2023/4-2023/9	前期比	
支払手数料	1,908	2,043	+7.0%	間接販売における販売パートナーへの支払手数料
調査費	340	367	+7.9%	顧客管理システム、投信バックオフィスシステム、マーケット情報サービス等の業務システムの利用料
その他営業経費	54	59	+10.3%	販売促進費、印刷費等
<b>営業費用</b>	<b>2,302</b>	<b>2,469</b>	<b>+7.2%</b>	
人件費	721	797	+10.6%	役員報酬、従業員給料等
広告宣伝費	229	107	△53.2%	新規顧客獲得のためのWEB広告費用、アフィリエイト費用、YouTube動画の送客費用
減価償却費	233	207	△11.1%	固定資産に計上したYouTube動画の制作費用の償却費等
不動産賃借料	106	103	△2.6%	本社オフィス賃料、NYオフィス賃料等
その他一般管理費	418	454	+8.6%	法定福利費、外注費、支払報酬等
<b>一般管理費</b>	<b>1,708</b>	<b>1,670</b>	<b>△2.2%</b>	
<b>営業費用及び一般管理費 合計</b>	<b>4,011</b>	<b>4,140</b>	<b>+3.2%</b>	

当社は、2023年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、参考値を記載しております。当該数値は東陽監査法人による四半期レビューを受けておりません。

# 連結貸借対照表の状況

株主資本

6,524百万円

前期末比 +14.5%

1株当たり純資産金額

534.21円

- 親会社株主に帰属する当期純利益による利益剰余金が増加。
- 自己資本比率は62.6%となり、今後も強固な財務基盤の維持を目指す。

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年9月末	前期末比
<b>資産</b>	<b>8,704</b>	<b>10,423</b>	<b>+19.7%</b>
<b>流動資産</b>	<b>7,737</b>	<b>9,229</b>	<b>+19.3%</b>
現金及び預金	2,103	2,980	+41.7%
顧客分別金信託	1,500	1,800	+20.0%
未収委託者報酬	3,725	4,005	+7.5%
営業投資有価証券	218	238	+9.0%
<b>固定資産</b>	<b>967</b>	<b>1,193</b>	<b>+23.4%</b>
有形固定資産	238	488	+105.0%
無形固定資産	381	358	△6.1%

	2023年3月末	2023年9月末	前期末比
<b>負債</b>	<b>2,610</b>	<b>3,541</b>	<b>+35.6%</b>
<b>流動負債</b>	<b>2,432</b>	<b>3,352</b>	<b>+37.8%</b>
<b>固定負債</b>	<b>177</b>	<b>188</b>	<b>+5.9%</b>
<b>純資産</b>	<b>6,094</b>	<b>6,882</b>	<b>+12.9%</b>
<b>株主資本</b>	<b>5,700</b>	<b>6,524</b>	<b>+14.5%</b>
資本金	100	322	+222.3%
資本剰余金	407	629	+54.6%
利益剰余金	5,193	5,572	+7.3%
<b>非支配株主持分</b>	<b>393</b>	<b>357</b>	<b>△9.1%</b>

# (参考) 四半期の状況

(単位：百万円)

四半期の業績推移	2023年3月期				2024年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
委託者報酬	2,322	2,396	2,403	2,354	2,487	2,548
投資顧問報酬	52	56	10	62	63	68
営業投資有価証券関連損益	-	-	-	-	-	△29
営業収益	2,375	2,452	2,414	2,417	2,551	2,587
営業収益（ネット）	1,437	1,482	1,438	1,457	1,538	1,557
販管費（除く支払い手数料）	1,035	1,068	1,073	1,027	1,054	1,043
営業利益	402	414	364	429	483	514
経常利益	412	419	364	429	482	520
四半期純利益	262	265	230	306	327	346
親会社株主に帰属する当期純利益	264	274	236	312	332	377

(単位：億円)

AUM	2023年3月期				2024年3月期	
	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	2Q末
投資信託	9,623	9,652	9,751	10,315	10,957	10,756
ダイレクト	1,766	1,766	1,790	1,885	2,059	2,060
パートナー	7,810	7,836	7,944	8,414	8,881	8,678
私募	46	48	16	15	17	16
投資顧問	877	1,050	1,073	1,127	1,234	1,207
全社合計	10,501	10,702	10,824	11,443	12,192	11,963

当社は、2023年3月期第1四半期及び第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、参考値を記載しております。当該数値及びAUMについては、東陽監査法人による監査及び四半期レビューを受けておりません。

# 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料は、レオス・キャピタルワークス株式会社（以下「当社」といいます。）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料は、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。また、過去の実績値は将来のパフォーマンスを示唆または保証するものではありません。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。なお、本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報は、公開情報または第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。
- 本資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。
- 「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。
- 各種マーケットデータについて
  - TOPIXの指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
  - MSCI ACWIは、MSCI Inc.が開発した、世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
  - S&P500は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社が米国の代表的な500社を選出し算出・公表する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社に帰属します。